

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	1 健康づくり・医療体制の充実	シート作成日	平成31年2月14日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>市民一人ひとりが健康寿命[※]を伸ばし、生涯にわたって健康で安心して暮らせるよう、健康増進計画及び特定健康診査等実施計画に基づき、体系的な保健サービスを推進するとともに、市内外の医療機関との連携のもと、地域医療体制の充実を進めます。</p> <p>※認知症や寝たきりにならない状態で自立して生活できる期間</p>	得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康意識の高揚を図ることができた。 ・がんの早期発見を行ない、早期治療に結びつけた。 ・毎年受診することにより、検診の習慣化を促し受診者数の向上につなげた。
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
がん検診受診率(胃・肺・大腸がん)	%	20.9 (H29年)	22.0	A(75~99%)
がん検診受診率(子宮・乳がん)	%	19.05 (H29年)	23.0	A(75~99%)
健康状態が「とても健康」、「まあまあ健康」という市民の割合	%	73.7 (H29年)	80.0	A(75~99%)
健康診査受診率(4か月・1歳6か月・3歳児)	%	99.7 (H29年)	97.0	S(100%)
ゲートキーパー養成研修済者数	人	477 (H29年)	400	S(100%)
各種検診など保健サービスの充実に関する市民の満足度	%	43.9 (H29年)	50.0	A(75~99%)

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域ぐるみの健康づくり活動の促進	健康づくりフェスティバル事業	健康づくりフェスティバル事業	×	4	11,740	1.194	3	4	2	3	拡大・充実
健康診査・指導等の充実	がん検診等事業	がん検診等事業	○	1	66,679	2.251	3	4	4	4	拡大・充実
母子保健の充実	予防接種事業	予防接種事業	○	1	120,176	0.313	4	4	3	4	拡大・充実
母子保健の充実	母子保健事業	母子保健事業	○	1	79,682	5.250	4	4	3	4	統合/ 終期設定

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として、がんでの死亡率は高く、早期発見が大切である旨の啓発を積極的に実施し、がん検診の受診率の向上に努める必要がある。 ・市民の多様化するニーズに応えるため、きめ細かな一貫した保健サービスが必要である。また、次世代の子どもの健やかな成長に資するために、本市の子ども・子育て支援事業計画との整合性を図りながら、他の部署及び関係機関とのより一層の連携を強化し、引き続き様々な施策を講ずる必要がある。

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	2 地域福祉の充実	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>すべての市民が住み慣れた地域で支え合いながら安心して暮らせるよう、多様な主体の参画・協働による地域福祉体制の整備をすすめるとともに、ユニバーサル・デザイン※のまちづくりを進めます。</p> <p>※はじめからすべての人が使いやすいように施設や建物、空間などをデザインすること</p>	得られた成果	<p>地域社会における中核的役割を持つ社会福祉協議会に対し事業運営や財政的支援を図り、活動の活性化を促進するとともに、地域福祉の担い手である民生・児童委員、各種福祉団体、福祉ボランティア団体の支援・育成を図ることができた。</p>
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
福祉ボランティア団体登録数	団体	12 (H29年)	14	A(75~99%)
福祉ボランティア登録者数	人	226 (H29年)	250	A(75~99%)
		(H年)		
		(H年)		
		(H年)		
		(H年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
福祉サービス・担い手の充実	社会福祉事務事業	社会福祉協議会支援事務事業	×	6	44,521	0.177	4	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	市民のニーズに応えるためには、社会福祉協議会の役割は非常に重要であり、行政と一体となって、地域福祉の充実に努めます。

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	3 子育て支援の充実	シート作成日	平成31年2月13日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	子どもが心身ともに健やかに育ち、子どもを産み育てる者が真に喜びを感じることでできる社会の実現に向け、子ども・子育て支援事業計画の策定のもと、多面的な子育て支援施策を総合的に推進します。	得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図った。 ◆待機児童数ゼロ施策を継続した。 ◆子育てに喜びを感じ、安定して子供を産み育てることができた。 ◆子ども達が心身ともに健やかに成長することができた。
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
一時保育を実施している保育所数	箇所	1 (H29年)	3	C(25~49%)
非木造保育所数	箇所	9 (H29年)	9	S(100%)
ファミリーサポートセンター会員数	人	527 (H29年)	400	S(100%)
児童館数	箇所	6 (H29年)	7	A(75~99%)
保育・子育てサービスの充実に関する市民の満足度	%	27.5 (H29年)	30.0	A(75~99%)
		(H年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域における子育て支援の充実	児童クラブ運営事業	児童クラブ運営事業	○	9	84,164	40.850	3	4	3	2	方法改善
地域における子育て支援の充実	子育て支援センター運営事業	子育て支援センター運営事業	×	4	28,415	9.200	3	4	3	3	方法改善
子育てを支援する生活環境の整備	子どもの遊び場管理事業	子どもの遊び場管理事業	×	6	8,207	0.200	3	3	3	2	方法改善
子育てを支援する生活環境の整備	児童館運営事業	児童館運営事業	○	1	45,759	17.200	3	4	2	2	方法改善
子育てを支援する生活環境の整備	保育所運営事業	保育所運営事業	○	1	1,305,158	247.572	3	4	4	2	方法改善

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<p>◆保育所 「食の安心・安全」への取り組みをさらに強化するために給食調理業務を2保育所を委託する。 平成31年10月から開始される保育料無償化に対応し、待機児童が発生しないように職員の確保が課題である。 厳しい財政状況の中、安定した保育の提供ができるように効率的な施設運営が課題である。</p> <p>◆一時保育 平成30年度から対象年齢を満6か月からに拡大した。</p> <p>◆児童クラブ 平成30年度から定員の拡大をした。 待機児童が発生しないようにクラブ室と職員の確保が課題である。 障害児の受け入れ体制の整備が課題である。 利用する児童数が増えていることから小学校から離れた場所にあるクラブは空き教室を利用し、狭隘化対策と安全の確保を図ることが課題である。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	4 高齢者支援の充実	シート作成日	平成31年2月14日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>すべての高齢者が尊重され、生涯にわたって健康で安心して暮らせるよう、介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき、地域包括ケア※の実現に向けた各種施策を総合的に推進します。</p> <p>※介護・予防・医療・生活支援・住まい等のサービスを一体化して提供する包括的な支援</p>	得られた成果	<p>平成29年度は、市民アンケートの実施や、見える化システムによる他市町村との比較を通じて、第7期介護保険計画を策定しました。また、第6期介護保険計画の最終年度として、地域包括ケアシステムの構築に係る、在宅医療・介護連携支援センターの開設に向けた調整や、介護予防・日常生活支援事業に対する評価と見直しを関係機関とともに実施しました。</p>
-------	---	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
要介護認定者数	人	1,732 (H 29年)	1,800	A(75~99%)
福寿会会員数	人	4,213 (H 29年)	5,000	A(75~99%)
シルバー人材センター会員数	人	180 (H 29年)	290	B(50~74%)
高齢者福祉施策の充実に関する市民の満足度	%	19.8 (H 29年)	25.0	A(75~99%)
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
地域支援事業の推進	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業	○	2	80,223	0.900	3	4	3	4	拡大・充実
地域支援事業の推進	介護予防包括的支援事業	介護予防包括的支援事業	○	1	36,559	0.081	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	敬老事業	敬老事業	○	5	9,820	0.215	3	3	4	3	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	単位老人クラブ支援事業	単位老人クラブ支援事業	○	5	6,101	0.032	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	老人クラブ連合会支援事業	老人クラブ連合会支援事業	○	5	1,241	0.032	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センター支援事業	○	5	20,144	0.022	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	居宅介護支援事業運営	居宅介護支援事業運営	×	2	18,401	3.399	1	4	2	1	廃止/休止
高齢者福祉サービス等の提供	給食サービス事業	給食サービス事業	○	5	12,540	0.200	3	4	3	3	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	○	5	371	0.024	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	緊急通報システム事業	緊急通報システム事業	×	5	3,444	0.030	3	4	2	3	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	○	5	5,421	0.159	4	4	3	4	拡大・充実
高齢者福祉サービス等の提供	総合福祉センター維持管理事業	総合福祉センター維持管理事業	×	2	73,220	3.514	3	4	4	3	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	十四山総合福祉センター管理運営事業	十四山総合福祉センター管理運営事業	×	2	41,308	3.188	3	4	3	3	現状維持
高齢者福祉サービス等の提供	いこいの里管理運営事業	いこいの里管理運営事業	×	2	26,353	2.593	3	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<p>平成30年度以降は、第7期介護保険計画に基づき介護施設等の必要な介護資源の整備を実施します。また、地域包括ケアの充実のため、平成30年4月に開設する在宅医療・介護連携支援センターとの連携や地域リハビリテーション支援推進事業、認知症カフェの開設に向けた各団体等との調整を行います。また、保険者機能強化推進交付金の評価指標に基づき、高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を総チェックし、弥富市にとって不足している項目の改善対策を関係機関と協議します。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	5 障がい者支援の充実	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	障がいのある人が地域社会の一員として自立し、自分らしく生きることができるよう、障がい者計画・障がい福祉計画に基づく各種施策を総合的に推進します。	得られた成果	障がい児・者が、地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、社会福祉協議会やサービス提供事業所等と連携して、経済的負担・介護負担を軽減し生活の質の維持・向上を図った。
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
障害福祉サービス利用者数	人	209 (H29年)	260	A(75~99%)
児童福祉法による給付サービス利用者数	人	86 (H29年)	70	S(100%)
地域生活支援事業利用者数	人	130 (H29年)	180	S(100%)
雇用就労支援件数	件	16 (H29年)	2	S(100%)
グループホーム・ケアホーム数	箇所	2 (H29年)	4	B(50~74%)
障がい者福祉施策の充実に関する市民の満足度	%	14.6 (H29年)	22.0	B(50~74%)

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
生活支援の充実	社会福祉事務	社会福祉協議会支援事務	○	6	44,521	0.177	4	4	3	3	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	心身障がい者扶助料支給事務	○	1	53,454	0.411	3	4	4	2	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	精神障がい者給付支給事務	○	1	10,669	0.293	3	4	4	2	現状維持
生活支援の充実	障がい福祉事務	心身障がい者福祉タクシー助成事業	○	1	6,958	0.300	3	4	3	3	現状維持
自立支援給付と地域生活支援事業の推進	障がい福祉事務	地域生活支援事業	○	1	45,679	0.645	4	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	障がい児・者の方への日常生活や社会生活の支援として、障がい福祉計画等に基づくさまざまな施策を実施し、障がいのある方が安心して暮らせるよう支援していきます。

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	6 社会保障の充実	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	市民が健康で文化的な生活を営み、老後に不安のない人生を送ることができるよう、国民健康保険や国民年金、生活保護など社会保障制度の周知と適正な運用に努めます。	得られた成果	<p>国民健康保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国民健康保険」の要となっている地域の医療保険として安定的に運営することができた。 <p>国民年金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の制度を正しく理解してもらいとともに、国の業務を適切に行うことができ、市民の利便性も向上した。 <p>就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援員を配置して、就労可能な生活保護受給者をハローワーク等の求人に結び付けるとともに、就労活動を支援することができた。
-------	---	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
年金相談の回数(月間)	回	2	2	S(100%)
		(H 29 年)		
就労支援世帯数	世帯	25	45	B(50~74%)
		(H29年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
	該当事項なし										

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>国民健康保険</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定した国保財政運営のため、適正な税率改正を行う必要がある。 国保税収納率の向上への取組を行っていく。 特定健康診査、特定保健指導、ジェネリック医薬品、レセプト点検等の推進による医療費適正化への取組を行っていく。 移植医療の理解を深めるための取組を行っていく。 <p>年金相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の法定受託事務であり、今後も継続して事業を実施する。 窓口へ来庁された方や、電話にて相談があった方に「年金相談」または「ねんきん相談」を案内し、相談しやすい環境を整える必要がある。 <p>就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援対象者は、多様な複合的な問題を抱えている場合が多く、単に経済的な自立だけでなく、日常生活や社会生活の自立も含めた支援が求められ「待ちの姿勢」ではなく、早期に支援が必要な方を発見することができる取り組みが必要です。